報

初步多



Feb. & Mar.

あなたのにゅーたうんKANADA



発行:金田町

編集:企画開発課

☎ (0947) 22-0555 FAX(0947)22-0782

子

でに 遊は

せマ

なッ

いチ

10

ラ

タ

ば

のマ

目ッ

にチ

触や

いタ

には 置

わてが

う場り投

所やげま

です捨た、

喫のも路

煙で、災上で

や灰のの

め皿原た

まの因ば

しなにて よいなの (No. 235 号)

-, は

る

族災をに積め、 会を改極、さの をさめ的され全 開なてにまま国 いい思参ざし火 てたい加また災 て話し合ってみてはいか、ため何をすればよいか、い起こされたことと思い起こされたことと思いた。この時期、消防署でた。この時期、消防署で、の時期、消防署で、の時期、消防署で、の時期、消防署で、の時期、消防署で いなたでー 。家火さ事はで

なしすやが時い一 火た。す続期の年冬 災火そいくはををか にへれ条な空ご通ら つのだ件ど、 がじて先 が注にそ火乾で火にり意、ろ災燥す災か まがち っがしかがけ ょて発 7 。大っい生強こもが とまし風の多

かのし十災類っ一者け平 な多て五ででて日は火成五 りくい分す 、い約、災元万 防はまに。最る五千が年五 、すーーもの人七発 こ日。件日多での百生年七 と頃このにいす割四し間百 。合十まに六 がのう割約の

」たポーでなよ 。イ火し点う家 ンのょにに庭 たな七 ばど出 よのさ いよな まつ

しの

どの使用を が原因です。 アンです。 が原因です。 でいて火種が が原因です。 です。 でのです。 でのです。 でのです。 でのです。 をおお ° O 下寝のが さたが布寝% 勧

のうい

間めします。 でい。さらにが、最も多いケーでは、ない。 さらにが、 たばこをしたが、 たばこをしたが、 たばこをしたが、 たばこのが、 たがこのが、 たがこのがこのが、 たがこのが、 たがこのが、

P [] 1 捨 寝 てた を ば し こ なや いた ば こ の 投げ

മമമമമമമമ

七知

お

イきた



深夜の火災予防のため、見回りをする 地区消防団の皆さん(Ⅱ)



年末の深夜、火災予防を拡声機で呼びかける 地区消防団の皆さん(I)

金田町 消防団の皆さん

出初め式において、整然とした

くことも大 切 で供ょ すにう。数 教 え火 ての お恐

を風 しの な強 () () ° ک き き

[3]

たき火が終れ たき火が終れ たき火を離れ たき火を っは消る から、水を いけません。 から、水を

[6] 3

ろ

の

空 だ

き

を

な

()

水いとっ がのいて空 きでういだちす、るき きす。う との と点っ思原入火かっ因 っ因 っすり ては ていること 水が入

い家 もの のま をわ 置り かに な い燃 。え か

す

う "にやどに放火 。環すすでつ火災放 境るいすかさが、火づなも。なれ、や くどの家いる年放火 をの時の々火 のは深夜、人目 時間帯がほとん いまわりに燃え 放火されないよう

祝結婚

消防署より講師を招き「防火教室」を 開催する第二行政区(地区公民館主催)

認 · 1 すたて るき消 こ火し とのま も跡し 忘をょ れずっつ。 ずま に一そ 。度し

そ天 のぷ 場ら をを 離揚 れげ なる いと き は

て器し必きしぷ くをょずに**、**らこ を、 う火そ天油ん °をのぷにろ さ台 い所ま消場らよ火 。にない、 でもも でもも でもも でもし でもし でも でんし 離 揚 もの ひ家かれげの多

> とを確 いス もト 。認 0 1 をブ す 近に る づは、け 習 慣 な燃 を いえ 0

o to

実 確

よ人ト

うがを

す

まブえはば たをやいにカ 離 すま くせステ トて 危んト 1 お 険か 1 にょスらづど 洗うトはけの 。1燃てそ

いの一用さ

践認て すしれ 15 す 家七 0) も危 う族つ での 険で ーポ - ン

け

ま

で目適すら 場 ク合旅 に館 は 0) 有 ル を

安マるに

忘を れ選 続協車すつられ

祝きをして下さ 場会、又は筑豊 が、百二十六 のいては、 税務

ュ 教

検川Cでで十なて車続廃の転バ

一イー高小金 ○ン般校中円の親生学

円円円

学生も加入

国人地

民年金が

必用Ⅰ二二一要料は○○五でが、○○

力

続き たる場合 たる場合 たる場合

さ 11

公大学

手れは

を所軽自

参の教た三

ぜれか改ひまら装

ごす各の

国民 加入金

つ

まちづくり懇談会で意見交換



商工会青年部・ O B と 町役場(企画・産業労働課) 2月5日 金田町商工会 にて

協議会」では、 協議会」を開始 は、第一回 と、第一回 と、第一回 と、第一回 と、第一回 と、第一回 と、第一回 と、第一回 って 0 ま〇メ池 てちB づのバ昇で計づ

俊る昨 信さ年 さと大長の長い

見交換懇見交換懇見

環 て中で 部れ宿ス部 報告も は塾で供は、自一交や、 さ提ね環 れ出ら境

備 らゆ てへれし人

検 討な境ふがウり 加あ会がしるで れる自 て方然の流外木 い面公設を国造

は 出すたれ 出すたれ たのの後聞若 も懇方のくい の談向商工め営

いな 行論独建商をの出間 懇町わ百創設店移本席答町 町より、振興協議会の町より、振興協議会の町より、振興協議会の町より、振興協議会の町より、振興協議会の町より、振興協議会の町より、振興協議会の町より、振興協議会の町より、振興協議会の町より、振興協議会の ま重の 、なル協役鉄りの すねよ どをを場道 , 中

町では、今後このような懇

開催の呼びかけがありまし

また、「まちづくり」につ

アイデア

22 - 0555

内線 23, 24

などがありましたら

役場 企画開発課

まで、ご連絡下さい。

談会などを、各方面の方々と

開催したいと思っています。

たら、是非ご参加下さい。

七か

人 後 火 三 • 一時金 四か曜

いま

後月 七 時 水 での用時十金 分曜 か日 5

の般使九 ご方 注はて

時ら三

でい。 できません できません (22 水プ (27 水プ) 五」せ 六 ま 意使い

度特難

た免除

制う困

つ用ル

年金係まり

プり

料加で室め月尚にに健いる冬

このして 三月ごしく このして 三月ごして 三月ごしく

正 講四で、らされ でもさ月

わ

、ま温中

。ル泳

られている。 ・さいプログか I に

ッく

め老きら金平

障や万けは生

る額のば民ん

たのとな年は

一れ国さ

是かてとして お非るしい 税問おこいてれ

務い願とぜんなの

賦せしりしと続

課は、すす税

わ致なとい手

税車を

の金はき

でがなち

かくん

世は、住民課国民年世は、住民課国民年世は、住民課国民年世は、住民課国民年世は、住民課国民年世は、住民課国民年世は、住民課国民年世は、住民課国民年世は、住民課国民年世は、住民課国民年世は、住民課国民年

あ

0 返 しとして

0

故

明子様 玉市 雄

○ (有) 寄

月付

次郎様 松夫様 様 次の方々より、 とは、 とは、 との方々より、 といただきます。 といっただきます。 とうござ 社会福祉者 仙事業に有意義にな備祉協議会にご寄せ 活付

せだ

町人 用い さた

桧垣 持尾 米 民雄 様尾様

子

垣 信

0

町代筝金 間隔芸教室会長 月峯 理産デルビー ダ 輝御 員輝ス 之店様 様 様

0

金

 \coprod

師

みなさんも国民年金 大きたのよ 自本 由人 ti"の 1+ Y" ŋ ´ます





活発に、そして独創的な意見を発表される 商工会の皆さんです

1 9 9 1 年 (平成 3 年) 3 月

行事予定表 (で家庭での予定も記入して 皆さんの目につきやすいところに貼って)

日	曜日	時 間	場	行事		担 当 課	で 家 庭 で の 行 事	備考
1	金							
2	土	9:30~	委員会室	議会運営委員会	1	議会事務局		
3	日							
4	月	9:00~	議事堂	3月定例町議会 (開	会)	議会事務局		
5	火							
6	水							
7	木	10:00~11:00	田川保健所(2階)	かみかみ教室		福祉課		
8	金					1. 1		
9	(9000		
10	日	19:00~	総合会館	第1回まちづくり懇談会		企画開発課		
11	月	9:00~	議事堂	本会議		議会事務局		
12	火	9:30~ 13:30~ 13:30~ 17:00~	委員会室 委員会室 議事堂 中元寺川黒尾橋上流・彦山川宝見橋上流	総務委員会 土木委員会 農業委員会 サケの放流		議 会 事 務 局 議 会 事 務 局 産 業 労 働 課 金田町職員活性化推進委員会		(雨天の場合15日)
13	水	9:30~	委員会室	産経委員会		議会事務局		
14	木	9:00~	議事堂	本会議 (閉	会)	議会事務局		
15	金	10:00~	金田中学校	卒 業 式		学校教育課		確定申告の / 切り日 町・県・国保税申告の / 切日
16	土	10:00~	金田小学校	卒 業 式		学校教育課		
17)	日	9:00~	町民会館	綱引き大会		社会教育課		
18	月	19:00~	総合会館	第2回まちづくり懇談会		企画開発課		県知事選告示
19	火							
20	水			民生委員会		福祉課		
21)	木			春分の日				
22	金	10:00~	総合会館	健康教室		福祉課		
23	(金田小•中学校	修業式		学校教育課		
24)	日							
25	月	9:30~	神崎保育所	卒園式・修了式				
26	火	13:30~	総合会館	文化同好者の集い		社会教育課		
27	水			心配ごと相談日		福祉課		
28	木	19:00~	総合会館	第3回まちづくり懇談会		企画開発課		
29	金	10 50						県会議員選挙告示
30	土	10:50~16:30	田川文化センター 夜須高原	結核の予防と精神保健を教える大会 子供会リーダー講習会(~4/1)		福祉課 社会教育課		
31)	日							

2 月 21 日

田川青少年文化ホール

NO

◎○○届届金出三出

 \mathbb{H}

ま

し望氏あ

せくだれ号番

広坂

E

_ _

番

登記所 お願ら

衛健市

施設業務係

予習 通 に 信 記

度奇

だの けは

せ

で

三十十月

気どと「るんで軽ん」自こで になっ分とい 相こ友のをる

猟銃と残火 保管管 理は

まる年扱猟終終す事こい銃了了 0 は が発生してい が発生してい が発生してい が発生してい

碓実 0

覚

九二(六四

四四四

実に施錠

ま

管 う。 確実 に 施 錠 し

ま

専

〇長い期間銃 場合は ま 砲店 を 使用 に 保 管 な

残弾が 練等で 察署に廃棄依頼す な () る 消費するか

し

をお般のず、 し が乱、し

の乱んしい



青少年健全育成田川地区大会開かる

性も

を育成

平成2年度 青少年健全育成 田川地区大会

↓第二長寿園のお年寄りに おゆうぎを披露する園児達

短大学長 中で、「子供」 を育てるという。 を育てるため、「子供」 を見いるため、「子供」 をしため、「子供」 ・「・「・「・「・」 ・「・「・「・」 ・

長 安藤延男先生のありました。 清意とする面、健全させるためには、そ でを見つけ、たっぷいであることが大切であることが大切である。 まするにめの多方面からるための多方面から



当町からの参加者

第二長寿園を訪問

一年りが回は遊お育 を寄の多行恒戯年所 育り方いわ例を寄園 々中れと披り児 でい切ふ少いっし訪が すとにれしまてま問第 始すあですおしし二

↑熱心に聞き入る 神崎保育所園児 じるいもま気

で の こ と っ で も と し い い して下さい。 して下さい。 して下さい。 している人。 している人。 している人。 っに ア待 アリ地獄 」 待っている ・絶対通用 L 度だけ」は している すどのは関で

係宛

に、 は、 きとと にあいて、 たとり、 たとり、 たとり、 にあいて、 であるとど は、田川 とどう生 ととる青

までの所在と同

石川県厚生部より次ので、緑故者の方は町ので、緑故者の方は町をに届け出て下さい。でに届け出て下さい。でに届け出て下さい。でに届け出て下さい。でまの所在・数金沢市末広町基地金沢市末広町墓地をま地整備のため。墓地整備のためる葬理由で、

改墓葬 改

墳でのに石

◎また墓

方は期の方は期の方は期の方は期の方は期の方は期の方は期の方は 日し墳 講 N 三 囲 の 座 H コ 碁 書 教 々に受講い

東八の内 方書 国〇 中四月三十日 まで まで

八 日 E K 八学 十 遠

談と達て知人

又は警 に置か

○銃を保管庫に まず 弾の 有 める 無 を 確認 ۲

(一部)

吉若式 田林が去 義 裕行る 子わ され月 2 んんま十 ががし五 、た日 成人該人族合 強く 決意を述 当者を代える館に ででまして を朗読 で、成 、、人 12

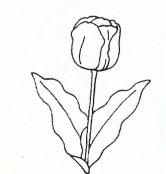
大生活の思い出話 を生活の思い出話 をして、次のよう として、次のよう として、次のよう として、次のよう として、次のよう 初めて が話懐 とにか時 ません はアンケ なした。 ケ る した。 ケ り花しの 巻をい担 い咲学任

A へ田 住川 続 住 けみ たた () () でで すす かか

○ ○ ○ ○ ○ ○ は そ (い (は **み に** 勤 外 実 住 住 い の 男 い 男 い **続 住** 暴力団 務に家みみ) 理11え14 印 団 地出がなやの由がたあれす場は女 象 • の が暴場 田くるてい合 11 6 悪走合 川ない 心族と あにいる

A ベ 曲 と前 来 は Ti バ ランス 女 3 女2 どうある ス

0 11



0

0 0

今 田

住 舎

ん

で

1)

る

い所

いが

9 6 (男

解答な 女8) 女 7)

世紀に向っ て翔

21 Cに向って起つ新成人に乾杯

おめでとう、新成人の皆さん

Α

期 る 12 11

A II h 3 待タ し自 ま動 す車 かの 筑豊進出

女0

場合

17

0 0 0 0 0 会川業 お にが社が者 \subset 出便だ発が

トな ヨい のの 仕場つし事合なに なが、からすく がる 7 3 to

ts

はは は は は は は は は は な 差 で と こ ろ 、 は は り 多 ぐ き 書 い で と こ ろ が 、 な き は は り 多 ぐ き ま か で メ り の で メ り カ の で ま れ れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の で ま れ の Mし共のね称けてのね結でた広ジジでさい与)成 政れる党 3 党て政・ ・民社会党・公明 ・民社党・社民連 ・日本する政党名が、次のような政党 ・民主党(これ が、次のような政党 ・民主党(これ が、次のような政党 の二大政党でする が、次のような政党 の二大政党でする が、次のような政党 の二大政党でする が、次のような政党 の二大政党でする が、次のような政党 の二大政党でする の二大政党でする の二大政党でする の二大政党でする の二大政党でする の二大政党でする の二大政党でする の一政党系 名呼党野 がされがどう り て か を を で党すれ

お互いの成長を称賛する同期生

流が報 5 れ子は て供わ党 い達かへこ と聞まれ かくせは とん

て続 女%が八 はけ質性であ十こ 、た問二すり五の 。ま名ア 住いの 石中五十 一三名) 一三名) 一三名) 一三名) 一三名) 三回一下 人か田 は、川 十答名は 半にに 八率の出 名六回席 数つ住 十答者 にいみ

せる名分 すがねは c で私

「久し振り」のことばが飛び交う会場

から金はないません! いしかさす期が でいしん るョ 人タ

きて

まい

15

かに しおしとたの よいょのい故 うてう期 、郷 とはか待何「 がの 土んピは地 カン う地

ス水純まが ポプ手い安 11造ミい ルりニ 施にのト環設金マ境 田トは etc ハにい 4 11

と町

せア合他すの か1、区私意のル田に達気 う金時一ち で田が住て はのあ民き あよっとて りさたしい まを場てま

ま

で

お

(2) 二二〇〇

れ

る

方

は

育

委員 会教育課

用 機

具

などの貸出を希望

3

を購

入しまし

た。

刈用ゴ業

するマイク設備、及び草ルフ用具と、大会等で使

のこ

一環とし、

宝くじ

環として、

グランド 助成

金田町少年の

到 章、当日十七名の意見発表がありました。それぞれ自べ 全育成活動に活かすため毎年行っているものです。 対象は小学校五・六年、中学校一・二年生全員で、意力 対象は小学校五・六年、中学校一・二年生全員で、意力 が象は小学を提出し、その中から学校より推薦していた の中です。 第四回少年の主張ナミニ 、広報に易も、に報に易も、に報に易も、に報に易も、に引から学校より推薦していただの、この大会の趣旨を長く活かすこう、この大会の趣旨を長く活かすこう、に報に易も、この大会の趣旨を長く活かすこう、 必町民会議が の健が

◇グランドゴ (貸出に ル

どうぞ、

たのしみ

こうぞ、おたのした広報に掲載し、数

お待ちください。

る 人も 7 また、 正 11 L 、ます。 L い理解 精 ようです。 神 精 と認織が 神健 病 17 に対すていて なさ

考える大会に核の予防と る大会

とんるいに病 す う認識 の人が結核ない。現在 結核問題 から か定着していまめ、町民の皆さり、町民の皆さ 心となって、 は患者となる っ万

発

を

行うことに

お

核や

精

神保 になり。

まかい かい めぐ

れながら元気に泳い地元の皆さんに、はいまれた自然とあた

いは

でげた

た自然とあた

いま

す。

歓

します。 だまだ、

ま

沢

Ш

0

仲

間

を

仲迎

(11)

をお

迎譲

えたにいって

0

ような り

○用いまのの開意イし啓と 0 意し 場 イベント た。 午催 市十時一 講 \coprod 無 演会の他、 -時五十分よ 午時 -後四時 文化 す。 屋 楽し り 日 食 を

さる

お

がいし、

即、

お

正画開発課 まががします。

ま

で

このたび縁が あって、泌川にお嫁入りした 私達(コイ)です。

南木地区泌川辻橋下流 手をたたくと、集って来ますよ。

後 編 集 記



でご了承下さ

は、次回に掲載致します」「短歌詠章」「地平句会」「短歌詠章」「地平句会」

お

ば

はあちゃ

んの

敬語の

誤

0

り、

で連絡下さい。 で連絡下さい。 がで連絡下さい。 のを収も ら は 新 ¬ 供 をお民 紙面お 町 収 発 集に 毎月発行し、 年回 これは失礼 (の都合に) 度が始 の皆様の情 行できるよう情 な話 努め ています。 11 等を求 まる 7 た いてと、 L 11 ま ま ま た で 報 季 四 せ す。 す。 す。 の提 ん、 時 刊月 85 集 は 報号か 7

うる仲間

連絡下

さい